報道関係者各位

平成 25 年 1 月 21 日

特定非営利活動法人　子ども健康フォーラム
公益財団法人　星総合病院
社会福祉法人　中央共同募金会
マニュライフ生命保険株式会社

－第 5 期子どもの療養環境改善のための特別支援プロジェクト－
乳幼児から思春期まで理想的な療養環境を提供する

東北地方初の『マニュライフわくわくるーむ』が完成

公益財団法人星総合病院内（福島県）に１月１９日（土）よりオープン

公益財団法人星総合病院（病院長：木島幹博）は、NPO 法人「子ども健康フォーラム」（理事長：長嶋正實）の支援協力のもと、療養中の小児患者を対象にした本格的な新プレイルーム『マニュライフわくわくるーむ』が完成を迎え、1 月 19 日（土）より正式にオープンの運びとなりました。当日は、公益財団法人星総合病院総長院長、病院長ら病院関係者をはじめ、NPO 法人「子ども健康フォーラム」、マニュライフ生命保険株式会社、社会福祉法人中央共同募金会の関係団体の代表者が出席し、贈呈式および内覧会が行われました。

『マニュライフわくわくるーむ』開設特別支援プロジェクトは、NPO 法人「子ども健康フォーラム」が取り組む子どもの療養環境改善活動の一環として、同 NPO 法人がマニュライフ生命保険株式会社の特別協賛と社会福祉法人中央共同募金会の協力を得て 2008 年より開始した活動です。療養中の子どもたちの心のケアのための中核施設としての“プレイルーム”の意義を啓発し、活用の充実と質的向上を促進するモデル・プレイルームの設置と運営を支援しています。第 5 期となる今回は、全国で 8 番目、東北地方では初めての『マニュライフわくわくるーむ』となります。

療養中の子どもたちをとりまく環境は、治療のストレス軽減のため、医療環境から離れた家庭を思い起こさせるようなリラックスできる空間作りや、他児との関わり合いの中で社会性を育む機会の提供など“療養環境の充実”が不可欠といわれています。福島県内の地域では、外で遊ぶ時間が限られるなど、不自由な状況の中で多くの方がストレスを感じて生活をされています。公益財団法人星総合病院の『マニュライフわくわくるーむ』は、不安な状況の中で病気と闘う子どもたちにとっての「遊びやくつろぎの場」であり、ご家族にとっても安心を提供する場としての機能を期待されています。

【オープンを記念しテープカットを実施】
（左から順に）中央共同募金会企画広報部部長・阿部陽一郎/ＮＰＯ子ども健康フォーラム理事長・長嶋正實/星総合病院病院長・木島幹博/星総合病院総長院長・丸山幸夫/マニュライフ生命保険株式会社・大内浩明リージョナルセールスディレクター

【テープカット後の内覧会では、実際に入院している患児とその親御さんがプレイルームを体験】

■公益財団法人星総合病院『マニュライフわくわくるーむ』 概要

公益財団法人星総合病院４Ｔ病棟
住所：〒963-8501　福島県郡山市向河原町 159 番１号

　公益財団法人星総合病院は、東日本大震災により甚大な被害を受け、建物が大きく損壊、病院機能が一時停止しました。しかし地域の中核病院という使命のもと、震災後敷地内に外来プレハブ棟を建設。また病棟の改修工事を行い、同年 6 月に外来・入院ともに診療機能を再開しました。震災直後には以前から計画していた新病院建設に着手しており、今年１月１日、新・星総合病院が開院いたしました。

　星総合病院の『マニュライフわくわくるーむ』は、近未来のまち「宙（そら）まち」をテーマに作られました。「宙まち」は、同病院から車で約 30 分で行くことができる布引高原をイメージした平和な近未来の空想都市です。猪苗代湖、磐梯山も一望できます。福島の子どもたちの未来と想像力を刺激する温かみのある療養環境を目指しました。

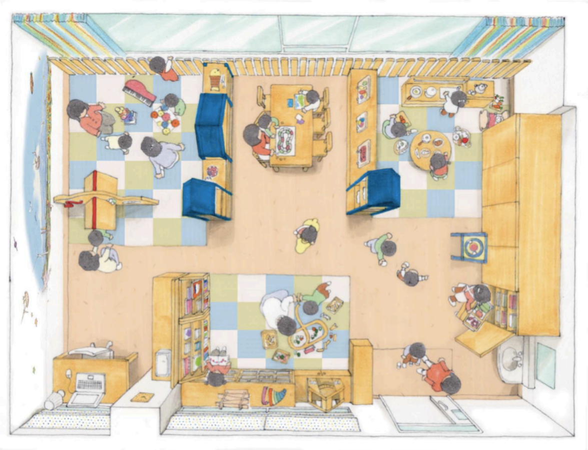
　今回の『マニュライフわくわくるーむ』の特徴の１つに、＜赤ちゃんコーナー＞、＜製作・ルール遊びコーナー＞、＜ごっこ遊びコーナー＞、＜スタッフコーナー＞、＜構築遊び・絵本コーナー＞と、わくわくるーむ内をそれぞれのスペースに分けて配置していることが挙げられます。また、テーマに合わせて床や窓回りなど内装もコーディネートしています。

　玩具は、乳児から学童期の子どもが興味を持って遊べる様々な種類の楽器、ままごとセット、汽車レール、積み木、ボードゲーム、パズル、カードゲーム、人形などを用意。症状によってわくわくるーむで遊ぶことができない子どもたちには、おもちゃを病室のベッドサイドに持っていくことのできるワゴンを用意し、病室から出ることが出来ない子どもたちへの保育も可能となっています。
　さらに、１階外来の待合スペースのプレイコーナーも、ＮＰＯ法人「子ども健康フォーラム」の設計で作られ、そこに置く玩具は当プロジェクトから寄贈させていただきました。食堂ラウンジには思春期の子どもが楽しめるように、ソファでマンガを読んでくつろげるスペースも作っています。

　同院には、避難を余儀なくされた方々も多くいらっしゃいます。避難生活を続けていたり、震災の経験により心に大きな傷を負った子どもたちも入院しています。福島県内には外で自由に遊べない状況からストレスを抱えている子どもや子育てに悩む母親も少なくありません。このような環境下での入院生活はさらに大きなストレスとなることから、入院環境の充実は大変重要であると考えます。

【製作・ルール遊びコーナー】

【１つ１つにこだわった玩具】



【マニュライフわくわくるーむ全体図（イメージ）】

【外来コーナー】

＜ご参考資料＞

「『マニュライフわくわくるーむ』プロジェクト」とは

カナダをはじめとする欧米の小児医療先進国に比べても遜色ない施設、運営方式を取り入れた、国内で最も先進的な小児専門病院のひとつとして知られている愛知県立あいち小児保健医療総合センター（愛知県大府市）にて現在運用中のプレイルーム「わくわくるーむ」をモデルとして、新規に導入を希望する全国の小児医療施設に、マニュライフ生命からの寄付金をもとに、理想的なプレイルーム『マニュライフわくわくるーむ』の設置・運営を支援するものです。

あいち小児保健医療総合センター
「わくわくるーむ」

【現在設置されている全国の『マニュライフわくわくるーむ』】

・近畿大学医学部附属病院（大阪府）: 病室を改修した病棟プレイルーム(2008 年)
・豊田厚生病院（愛知県）: 短期入院用と中長期入院用の２つの病棟プレイルーム(2008 年)
・大阪市立総合医療センター（大阪府）: 思春期コーナーがある病棟プレイルーム(2009 年)
・中部ろうさい病院（愛知県）: 病棟プレイルーム・処置室に連動した外来プレイコーナー(2009 年)
・旭川厚生病院（北海道）: 乳幼児コーナーを設けた病棟プレイルーム(2010 年)
・大阪府立母子保健総合医療センター（大阪府）: 国内初の青少年向けプレイルーム(2010 年)
・滋賀県立小児保健医療センター（滋賀県）: 重症心身障害児向け病棟プレイルーム(2011 年)

公益財団法人星総合病院について

星総合病院は、診療科 32 科、一般病床 430 床を有する地域の中核病院です。急性期疾患に対応する最新の設備を備え、プライマリケアから専門治療まで幅広く対応しております。平成 8 年に県内初の開放型病院の認定を受け、平成 19 年には地域医療支援病院に承認されるなど地域の医療機関との連携を積極的に推進しています。平成 25 年 1 月には、念願の新病院が開院。救急専用ベッドを完備しヘリポートを設置するなど救急医療の充実を目指します。また県中・県南地区で２施設目となる緩和ケア病棟を新設。さらに予防も含めた総合リハビリテーション体制を目指し、プールやフリースペースを備えた健康増進施設を併設するなど、多様化するニーズに対応した新たなサービスを提供しております。地域密着・親しみやすさ・開かれた病院等を象徴する当法人の伝統的思想「おらが病院」を基本コンセプトに、地域から愛され信頼される病院を目指しています。

NPO「子ども健康フォーラム」について

「子ども健康フォーラム」は、未来のある子ども達に、その胸に夢と希望がもてるような環境を整えることが必要・不可欠であるという考えを持っています。日本有数の先進的小児保健医療施設である「あいち小児保健医療総合センター」（愛知県大府市）をはじめとする小児医療諸施設の装飾支援、プレイルーム支援、子どもの健康に関する施設でのイベント開催支援等を行っています。病児やその家族が癒され、勇気をもって治療を受けられる手助けとなる病院の環境づくりは、高い社会的評価を受けているところです。(ホームページアドレス　http://www.npo-cln.org/)

社会福祉法人中央共同募金会について

社会福祉法人中央共同募金会は、全国 47 都道府県共同募金会の連合体で、赤い羽根をシンボルとする共同募金運動の全国的な企画、啓発宣伝、調査研究、都道府県共同募金会の支援等を行っています。また、寄付金の受入れおよび調整や、民間助成資金･公益信託などの取扱いを通して、民間福祉事業の推進に大きな役割を果たしています。NHK との共催による「NHK 歳末たすけあい」、ボランティア活動の推進なども行っています。

マニュライフについて

マニュライフ生命保険株式会社　(「マニュライフ生命」）は、マニュライフ･ファイナンシャル社のグループ企業です。マニュライフ･ファイナンシャルは、主にアジア、カナダ、米国を中心に事業を展開しているカナダ系大手金融サービス･グループです。お客様は、マニュライフが信頼に支えられ、その信頼に真摯に応える企業として、また力強さに満ち、明日を切り拓く企業として、人生で最も重要な資金面の決断を行う際の解決策を提供することを期待されています。同社職員、エージェントおよび販売パートナーの国際的なネットワークを通じて、数百万のお客さまに経済的保障や資産運用・形成のための商品・サービスをご提供しています。また、機関投資家のお客さまには、資産運用サービスもご提供しています。マニュライフ･ファイナンシャルとその子会社の管理運用資産は、2012 年 9 月 30 日現在 5,150 億カナダドル（5,230 億米ドル）となっています。カナダおよびアジア地域ではマニュライフ･ファイナンシャル（マニュライフ）として、米国においては主にジョン･ハンコックのブランドで事業を展開しています。マニュライフ･ファイナンシャルは、トロント証券取引所、ニューヨーク証券取引所およびフィリピン証券取引所においては｢MFC｣の銘柄コードで、また、香港証券取引所では｢945｣で取引されています。マニュライフ･ファイナンシャルについての詳細は WEB サイト(www.manulife.com) をご覧下さい。マニュライフ生命の WEB サイトは次の通りです。(www.manulife.co.jp)